

## 【いじめ撲滅宣言】～みんなが本当に愛せる 中を目指して～

### 1 実践の概要

#### (1) 取り組みのねらい

- ・ 「いじめは絶対許さない」という強い意志を伝えるとともに、よりよい人間関係の構築を図る。
- ・ 生徒及び教師が一緒になって「いじめ問題」に対して、互いの思いや考えを発表し合い共通理解を深める。
- ・ 保護者には、学校としての「いじめ」に対する基本姿勢や対応、生徒の活動等についてプリントを配布し理解してもらう。

#### (2) 取り組みの内容

- ① 実施日・・・平成18年12月7日（5・6校時）
- ② 対象となる者・・・全生徒・教職員
- ③ 内容
  - ・ 「いじめ」アンケートを実施し、「いじめ」アンケートの集計結果を全員に配布し、その結果を教師が説明する。
  - ・ いじめのビデオ「1,000の叫び」を鑑賞する。
  - ・ ビデオやアンケート結果をもとに「いじめをなくすにはどうしたらよいか」「いじめをなくすために自分は何をするか」という内容で生徒・教師ともに作文を書く。
  - ・ 代表生徒及び代表教師の作文を発表する。
  - ・ 全生徒・全教師の作文を印刷・帳合いし冊子を作成する。
  - ・ 読書活動の時間において、冊子をもとに読ませ、感想文を生徒に書かせる。
  - ・ いじめ撲滅に向けた標語を生徒に考えさせ、各学級において掲示する。

### 2 実践の成果と今後の課題

教師主導型の指導であったが、一斉に行うことにより「いじめ」に対する教師の熱い思いは多少なりとも生徒に通じ、「いじめ」に対して真剣に考えることができた。その後の生徒の様子（清掃活動・学年レク等）から、友人と協力して活動する姿が多く見られ、相手を思いやろうとする態度がでてきた。また、その後の生活アンケートの結果からは完全に「いじめ」の訴えは無くなっていないが友人関係等によるトラブルは減少しており、十分ではないものの成果はあったと思われる。

課題としては、今後も「いじめ」に対して計画的・継続的に指導をしていくとともにアンケート等から実態把握に努め、早期発見・対応をしていく必要がある。また、普段の生活から生徒や保護者との信頼関係の構築に努力し、何でも言える・相談できる雰囲気を作っていかなければならない。

### 3 実践に関する資料

- (1) 使用した教材・・・NHKビデオシリーズ いじめドキュメント1, 000の叫び  
(大河内清輝君の両親に寄せられた全国の手紙より)
- (2) 生徒作文

最近、自分がどれだけいじめに対して無関心だったかということを感じる機会が増えてきました。自殺のニュースが毎日流れる中、「自分には関係ないことだ」と聞き流していたことも事実です。しかし、クラス内でいじめがあったということもあり、だんだんいじめについて意識するようになりました。そして今日、いじめに関するビデオを観て、一層真剣に考えなきゃいけないんだと思いました。

「どうすればいじめはなくなるのか」以前の私がそうだったように、人に対して「無関心」をやめることから始まるのではないかと思います。周りの人に関心を持ち、相手の立場に立って物事を考えて、人にされて嫌な事はしないと、ということを常に頭の中に入れ行動していけば、いじめは自然になくなっていくと思います。

どんな理由があってもいじめをすることは人間として最低なことです。だから私達はみんなでいじめを許さない雰囲気を作っていくことが必要だと思います。

- (3) 保護者へ配布したプリントから

#### 1 本校としての基本姿勢

- (1) 弱い者をいじめることは、人間として絶対に許されない。
- (2) いじめられている生徒の立場に立った親身な指導。
- (3) 生徒は多様な個性をもつ、かけがえのない存在という受け止め。

#### 2 いじめへの対応

##### (1) 全職員一体となった取り組み

- ① 実態のきめ細かな把握
- ② 教職員間の情報交換
- ③ 早期発見

##### (2) 教育的指導の充実

- ① 分かりやすい授業の工夫
- ② 自己存在感のある指導の展開
- ③ 他人の痛みがわかる指導の展開

##### (3) 教育相談の充実

- ① いつでも相談できる雰囲気づくり
- ② 生徒との温かいふれあい

##### (4) 社会性を育てる

- ① 生徒の人格のよりよき発達・・・道徳、各教科
- ② 人間関係の改善
- ③ ボランティア活動、体験活動

##### (5) 家庭との連携

- ① 家庭との連携・協力